



高工進路だより

2019.8.29 (第3号)

“進路”選択は“生き方”の選択

「進路」選択、それは厳しさを伴うものですが、「新たな自分」発見という大きな喜びにつながるものです。新たな進路で、新たに充実した「生き方」を見い出しましょう。

「生き方」の土台は、真剣で前向きな姿勢と幅広く学ぶことを通して築かれます。

この2学期、3年生にとっては実質的に最後の高校生活となります。

日々のたゆまぬ学習を通して、広い視野の獲得に取り組みましょう。

9.16 就職試験いよいよスタート!



決め手は『人物』 …“自分らしさ”をどう演出するか!

9月16日より就職試験が解禁となります。重視されるのは何と言っても『面接試験』。“自分の良さ”を十分に際立たせるためには周到な準備が必要です。自分の<人柄>をにじませた<プラス志向>の応答ができるかどうか勝負の分かれ目!

[その場での適切な応答が難しい質問例] …十分な準備を!



- ・当社について知っていることをできるだけ多く挙げてください。
- ・同じような業務内容の会社がある中で、当社を選んだ理由は何ですか。
- ・あなたは当社で働くための適性はあると思いますか。
- ・職場で仕事をして行く上で大切なことは何だと思いますか。
- ・あなたが自慢できることは何ですか。
- ・あなたはどのような充実した高校生活を送ってきましたか。(★1)
- ・最近、特に関心を持ったニュースは何ですか。
- ・苦手な教科はありますか。(★2)

(★1)「高校時代に打ち込んだこと」

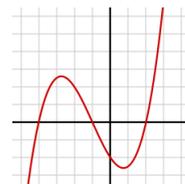
高校生活を通して自分が大きく<成長>した点に加えて、「周囲の人とどう関わったか」についての的確に話すことができるかが肝心です。

(★2)「苦手な教科はありますか」 …“前向きな姿勢”をどこまでアピールできるかどうか。

人間、誰も苦手はあるもの。大事なことは、苦手ながらも、それを補強するために、自分なりにどう努力を重ねているかということ。

「この仕事は私には合わないの、他の人をお願いします。」なんて言ってしまうのは、あなたの信用は丸つぶれ。会社から期待されて任された仕事、

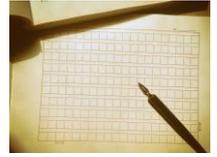
たとえ自分には向いていないように思えたとしても、指導を仰ぎながら、最善を尽くして積極的に取り組むことで、新たな分野の仕事への道が開け、“自分の可能性が広がる”ことになるのです。



『作文』は自分の分身…〈人間性〉の反映

作文試験に向けた指導が始まっています。本校の生徒が応募している会社の5割程度が採用試験のひとつとして作文を課しています。

『進路の手引き』(p.59-63)にある「過去の作文試験の題材」で、必ず練習をしておきましょう。“内容のある”作文を書くには、準備が必要です。



表面的な内容の作文では試験官の心の琴線に触れることはできません。〈裏付け〉となる自身の経験を踏まえて、どこまでも「読み心地のいい作文」を書くことが合格への鍵となります。

“平行移動”の法則での対応

「これからどう生きたいか」(谷電機工業)というテーマの作文が出題されたとします。そんな題名では練習したことがなかったとしたら、全くお手上げでしょうか。「10年後の自分」(スズキ製作所)・「どのような社会人になりたいか」(フジ機工)・「一番夢中になっていること」(トミー工業)等で練習をしたことがある人は内容の“応用”が可能なのです。

【求められる“基礎能力”】 (『企業訪問報告書』より)

- ・情報を得る力、活用する力 (D'LEAP)
- ・PCの操作能力 (サミット・スミハツ)
- ・仕事の手順を守る (DNA テクノパック)
- ・溶接の技能 (東工業)
- ・数学計算問題・文章問題を解くことができる (住友ゴム)
- ・機械加工プログラムのための数学の知識 (オーゼキ)
- ・人前で自分の考えが言える (D'LEAP・アズビル金門・加藤螺子製作所)
- ・SPIの知識 (日本金属・日本精工・白河オリンパス・信越化学)



※**要注意** 「性格検査」での前半の〈“ごまかし”の回答〉が後半の回答により“ぼろ”(矛盾)が出てしまうので、正直に答えることが肝心。(丸栄コンクリート・信越化学・ミヤザワ)

◎「面接試験」で面接官が知りたいこと

- ①入社後、成果を出してくれそうな人物かどうか。
- ②組織の中で周囲とうまくやっていけそうかどうか。



“公募推薦入試”合格に向けて！

- 就職試験と同様、『面接試験』が合格のための大きなポイントとなります。
- 学科試験の結果で合否が決まる一般入試とは異なり、「調査書」・「学習計画書」・「志望理由書」、「面接」、「小論文(作文)」などにより出願者の個性や適性に対して多面的な評価を行い、合格者を選抜する。

*[差がつく質問]

- ・高校で何を学び、何を身に付けたか。
- ・進学後、特に勉強したい分野、自分の伸ばしたい能力。
- ・卒業後の進路について、どう考えているか。



☆就職試験・進学試験を勝ち抜くことができる人は、十年後・二十年後もきっと充実した日々を送っていることでしょう。一日一日を大切にきちんと準備を進めましょう！

